



埋蔵文化財愛知

no.49



さかさ銅鐸^{どう たく}出土!

はちおうじ
八王子遺跡



八王子遺跡の調査最終日、96 J 区から銅鐸が出土した。弥生中期の居住域内で、しかも倒立状態の埋納という異例の出土状況であった。発掘調査で確認した銅鐸としては朝日銅鐸に次いで県内 2 例目である。型式は外縁付鈕式で、県内最古の銅鐸となる可能性が高い。
(・ 頁参照)

平成9年度の事業

平成9年度 事業計画
(財)愛知県埋蔵文化財センター

埋蔵文化財発掘調査

(総調査面積 62336㎡)

東海環状自動車道関連

- 上品野遺跡
瀬戸市 4000㎡
- 長谷口遺跡
瀬戸市 100㎡
- 巡間A遺跡
瀬戸市 100㎡
- 鳳山窯跡
瀬戸市 100㎡
- 瓶子窯跡
瀬戸市 200㎡
- 御船城跡
豊田市 200㎡

国道23号線栄交差点立体化事業

・第二東海自動車道関連

- 大脇城跡
豊明市 2800㎡

国道23号名四バイパス6線化

・第二東海自動車道関連

- 福池古窯跡
大府市 600㎡

第二東海自動車道

- 本川遺跡
豊田市 1000㎡
- 川原遺跡
豊田市 10500㎡
- 郷上遺跡
豊田市 23600㎡
- 郷上北遺跡
豊田市 200㎡
- 今町遺跡
豊田市 200㎡

東海北陸自動車道関連

- 馬引横手遺跡
一宮市 180㎡
- 八王子遺跡
一宮市 247㎡
- 苅安賀遺跡
一宮市 1732㎡

名神一宮P.A関連

- 三ツ井遺跡
一宮市 5977㎡

中丸町三丁目住宅建設関連

- 志賀公園遺跡
名古屋市中区 4000㎡

尾張西部都市拠点地区土地区画
整理関連

- 下津北山遺跡
稲沢市 2100㎡

国道363号線道路改良

- 上品野蟹川遺跡
瀬戸市 100㎡
- 桑下城跡
瀬戸市 150㎡
- 桑下東窯跡
瀬戸市 100㎡
- 上品野西金地遺跡
瀬戸市 100㎡

県道江南木曽川線

- 大毛池田遺跡
一宮市 150㎡

総合治水対策特定河川(五条川
改修)関連

- 清洲城下町遺跡
西春日井郡清洲町 1800㎡

五条川右岸流域下水道

- 権現山遺跡
岩倉市 2000㎡

国道248号線関連

- 郷上北遺跡
豊田市 100㎡

報告書の作成

- 第74集 NA335号古窯跡群
- 第77集 東新規定遺跡
- 第78集 東苅安賀道遺跡
- 第79集 一色青海遺跡
- 第82集 吉田城遺跡

報告書の印刷製本

- 第70集 清洲城下町遺跡
- 第71集 田所遺跡
- 第72集 大毛池田遺跡
- 第73集 西上免遺跡
- 第75集 大縄遺跡

出土遺物の分析・整理

- 門間沼遺跡
- 朝日遺跡
- 細口下1号窯
- 鴻巣古窯
- 高針原1号窯

広報紙・誌の発行

- 愛知県埋蔵文化財情報13
- 埋蔵文化財愛知 年4回
- 愛知県埋蔵文化財センター年報

愛知県教育委員会実施の事業

愛知県教育委員会生涯学習部
文化財課文化財保護第二担当

県教育委員会は、遺跡の周知徹底を図り、開発事業との調整・協議のために基礎的資料の作成などをすすめているが、本年度は次に掲げる事業を実施していく。

中世城館跡調査

山林の荒廃や各種開発事業の進行に伴って滅失、変容の危機に直面している県内の中世城館跡の実態を把握し、保存の方策を講ずるための基礎資料とする。今年度は知多・尾張地区の調査報告書の作成を実施する。

知多半島遺跡詳細分布調査

中部新国際空港(2005年開港予定)の建設等により開発事業の増加が予測される知多半島の遺跡の現状を正確に把握し、埋蔵文化財の保護と開発事業との調整に備える。今年度は東海・大府市域の調査を実施する。

清洲貝殻山貝塚資料館整備拡充事業

朝日遺跡から出土した膨大な遺物を適切に保管し、展示公開などによる積極的活用を図るために、貝殻山貝塚の隣接地に新館を建設する。本年度は実施設計および史跡整備設計を行う(平成11年度開館予定)。

第10回埋蔵文化財調査研究会

県内の埋蔵文化財担当専門職員が発掘調査成果の発表をとおり、情報交換と研鑽に努めることを目的に開催する。本年は埋蔵文化財調査センター設立10周年を踏まえ、例年行っている遺跡の事例発表に加え、記念講演会を予定している。

開催日 平成9年7月4日(金)
会場 愛知県埋蔵文化財調査センター



愛知県埋蔵文化財担当専門職員名簿

愛知県教育委員会生涯学習部文化財課 文化財保護第二担当 主任専門員兼主査 専門員 教育主事 主事 愛知県埋蔵文化財調査センター 所長 主査 愛知県陶磁資料館 学芸部長 主任学芸員 学芸員	052-961-2111 赤羽一郎 山崎穂高 高橋信明 安藤義弘 原田 幹 0567-67-4164 加藤安信 梅本博志 0561-84-7474 柴垣勇夫 浅田員由 井上喜久男 森 達也	長島 広 柴田直光 仲野泰裕	基目寺町教育委員会社会教育課 主事 東海市教育委員会社会教育課 課長補佐 主事 大府市教育委員会生涯学習課 主事 知多市教育委員会生涯学習課 書記 南知多町教育委員会社会教育課 事務史員 非常勤 岡崎市教育委員会社会教育課 事務史員 刈谷市教育委員会社会教育課 学芸員 西尾市教育委員会社会教育課 文化財係長 学芸員 知立市教育委員会文化課 主事 嘱託 吉良町教育委員会社会教育課 庶務主査 豊田市教育委員会文化財保護課 係長 主査 書記 新城市教育委員会生涯学習課 主任 主事 豊橋市教育委員会文化振興課 事務史員 豊川市教育委員会生涯学習課 主事 一宮町教育委員会 主査	052-444-2511 内山伸也 052-603-2211 立松 彰 永井伸明 0562-47-2111 古田公治 0562-33-3151 伊藤久仁洋 0569-65-2880 森 崇史 磯部幸男 0564-23-6177 内藤高玲 0566-23-1111 鶴飼賢証 0563-56-2459 松井直樹 鈴木とよ江 0566-83-1133 大野真規 五川裕香 052-444-2511 荻野 栄 0565-32-6561 松井孝宗 杉浦裕幸 05362-3-4741 渡辺敬一 黒田健二 0532-47-2017 贅 元洋 05338-9-2158 岩瀬彰利 林 弘之 05339-3-6030 須川勝以	名古屋市見晴台考古資料館 学芸員 野澤則幸 野口泰子 平出紀男 木村有作 服部哲也 村木 誠 一宮市博物館 学芸員 (財)瀬戸市埋蔵文化財センター 専門員 主任 調査員 愛知県清洲貝殻山貝塚資料館 上級主任 主任 尾西市歴史民俗資料館 学芸員 美和町歴史民俗資料館 学芸員 鎌倉崇志 弥富町歴史民俗資料館 学芸員 伊藤隆彦 半田市立博物館 館長 学芸員 近藤英正 常滑市民俗資料館 学芸員 中野晴久 武豊町歴史民俗資料館 学芸員補 奥川弘成 安城市歴史博物館 学芸員 岡安雅彦 主事 伊藤基之 三好町立歴史民俗資料館 主事 嘉見俊宏 足助資料館 主査 嘱託 蒲郡市博物館 学芸員(主査)	052-823-3200 木村光一 山田鉦一 水野裕之 伊藤正人 伊藤厚史 田原和美 0586-46-3215 土本典生 0561-21-1951 藤澤良祐 岡本直久 松澤和人 青木 修 河合君近 052-409-1467 野口哲也 大矢 頭 0586-62-9711 小林弘昌 052-442-8522 0567-65-4355 0569-23-7173 立松 宏 0569-34-5290 0569-73-4100 0566-77-6655 斉藤弘之 05613-4-5000 0565-62-0387 0533-68-1881 小笠原久和
---	---	----------------------	---	--	--	---

(平成9年6月1日現在)

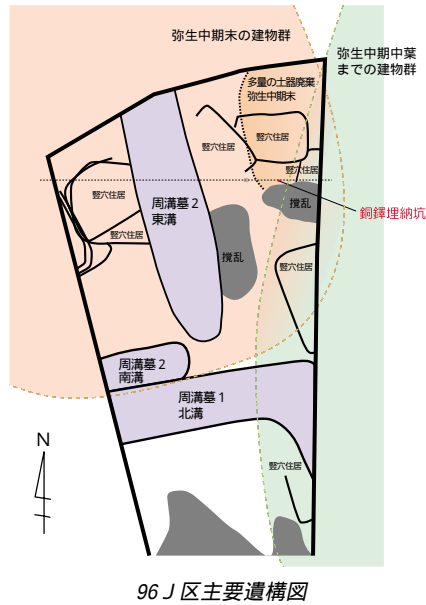
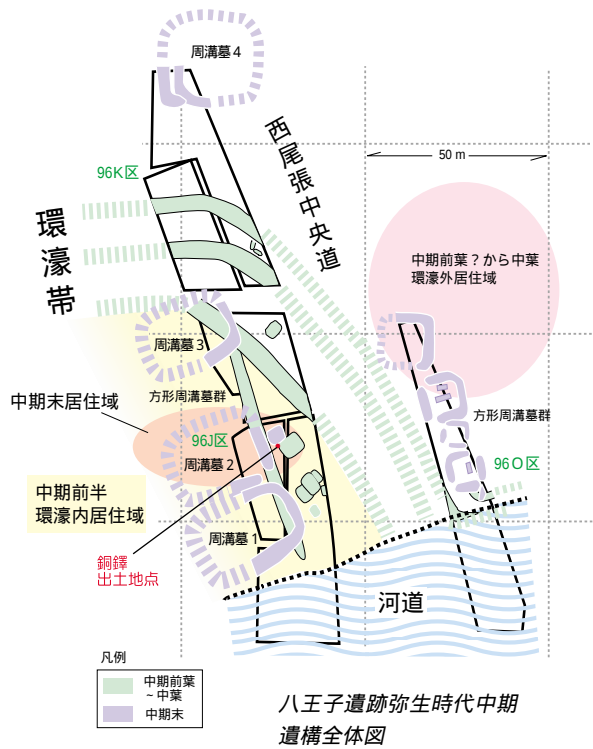


財団法人 愛知県埋蔵文化財センター - 職員

役 員		職 員	
理事長 常務理事	安部 功 堀尾満也	事務局長(兼管理課長)	鈴木順一
理事	伊藤 廉 井関弘太郎 伊藤秋男 坪井清足 植崎彰一 渡辺 誠 間瀬泰男 高田鉦郎 伊佐治敏 湯之上章良 大長芳雄 中村 真	管理課 課長補佐 主査 専門員 主事 調査課 課長 課長補佐(兼主査) 主査 主任 調査研究員	市山 泰 鹿取健司 杉浦俊雄 渡邊高夫 長瀬尚哉 大井 治 坂美貴子 鷲野 勉 坂倉澄夫 藤井孝之 黒田哲生 北村和宏 小澤一弘 松田 訓 木下 一 浅井厚視 中野良法 西原正佳 酒井俊彦 服部信博 小川芳範 樋上 昇 加藤博紀 堀木真美子 鬼頭 剛 武部真木 早野浩二
監事	春日井文人 山口和生		福岡晃彦 赤塚次郎 大崎正敬 石黒立人 伊藤秀紀 宮腰健司 春日井毅 後藤英史 山本寿徳 池本正明 秋田幸純 鈴木正貴 飴谷 一 伊藤太佳彦 永井宏幸 田中伸明 陸山誠一
専門委員	考古学 文献史学 地理学 建築史学 考古学・動植物学 形質人類学 保存科学	榎崎彰一 福岡猛志 海津正倫 小寺武久 渡辺 誠 池田次郎 沢田正昭	名古屋大学名誉教授・愛知県陶磁資料館総長 日本福祉大学副学長 名古屋大学教授 名古屋大学教授 中部大学教授 名古屋大学教授 京都大学名誉教授 奈良国立文化財研究所 埋蔵文化財センター研究指導部長 日本福祉大学教授 名古屋大学名誉教授
岩石学 木材組織学	諏訪兼位 木方洋二		

(平成9年6月1日現在)

一宮市八王子遺跡出土銅鐸について



朝日銅鐸出土状況



八王子銅鐸の出土状況 南から

平成9年3月13日、八王子遺跡96J区から銅鐸が出土した。調査はすでに最終日で、調査区に残した土層観察用のベルトを除去する作業をようやく終えようとする午後3時過ぎのことであった。発掘作業員に呼ばれて見ると、この遺跡の地山である灰色シルトの土のなかに青灰色を呈する楕円形の輪郭が姿を現わしていた。銅鐸の発見である。

銅鐸の埋納状況

96J区からは弥生前期の環濠、弥生中期前葉～中葉の溝・円筒形土坑群、弥生中期末の竪穴住居・方形周溝墓、弥生後期後半～古墳前期初頭の区画溝・土坑、奈良時代の掘立柱建物など多くの遺構が見つかった。

弥生前期の環濠は96J区を北西から南東に縦断しており、居住域はこれより東に広がる。弥生中期前葉から中葉にかけての環濠は96J区より北で3条確認しており、弥生前期の居住域とは逆に、これらの調査区より西の方へ広がっている。弥生中期末にはこれらの環濠が埋没して方形周溝墓が築かれる。96J区では墳丘の一辺が15mを超える大型の方形周溝墓を2基（周溝墓1・2）検出している。周溝墓2の東には高蔵期の土器が大量に廃棄されており、方形周溝墓の築造にかかわる墓前祭祀のあとと考えられる。時期は前後するが、これらの土器群より下層で弥生中期中葉から末頃の竪穴住居を数棟検出している。銅鐸は弥生前期の環濠よりわずかに東で、方形周溝墓築造以前の竪穴住居群が密集する位置に埋納されており、その約20cm南には現代の攪乱が迫っていた。

銅鐸埋納当初の掘り込み面は後の遺構の削平などですでに確認はできないが、検出状況における銅鐸埋納坑は長径28cm、短径25cmの

すり鉢状の土坑で、そのなかに鈕を下にした倒立状態で埋納されていた。埋土は黄灰色でやや粘質の土を下にいれ、上に黒褐色土を充填している。銅鐸の法量は高さ約21cm、底部の長径が11.3cm（^{ひれ}鰭間で13.4cm）、短径は7.8cmと、愛知県内では最小、全国的にもかなり小型の部類にはいる。銅鐸は周囲の土ごと取り上げたためにまだ正確な型式は不明だが、埋納坑の南西側4分の1を掘り下げて確認した状況では外縁付鈕式の古い段階か、あるいは菱環鈕式の可能性もあるというのが大方の意見である。外面の紋様については使用による磨滅が著しいことや、付着した土が大半を覆っているためにまだ確認していない。

八王子遺跡出土銅鐸の意義

八王子遺跡出土銅鐸（以下、仮に八王子銅鐸とする）のもつ意義について触れておきたい。県内で出土した銅鐸は現在40数例知られているが、正式な発掘調査で出土した銅鐸としては朝日銅鐸について2例目である。朝日銅鐸は平成元（1989）年、西春日井郡清洲町の朝日遺跡で出土したものである。埋納位置は南集落の南側で、弥生後期の外環濠の外側で同時期の方形周溝墓との間に鰭を横に向けた状況で出土した。高さは46.3cmで、型式は扁平鈕式と突線鈕式の両方の特徴を併せ持っており、時期は弥生後期である。一方、八王子銅鐸は外縁付鈕式の古い段階ないしは菱環鈕式と古く、県内では最古段階の銅鐸である。埋納時期はまだ絞り切れないが、弥生中期中葉から末頃の間で、高蔵期の大型方形周溝墓築造以前である。弥生中期の環濠との並存関係は微妙だが、同時期の竪穴住居の存在から、集落内に埋納されていたことは確実である。本来の埋納坑は遺構検出面よりかなり上から掘り込まれ

ていたと考えられるので、現況の埋納坑より大きな規模の作業スペースがあった可能性が高い。検出面での埋納坑が隣接する別の土坑を切っていることを調査時に確認しているため、この隣接する土坑から出土する土器によってさらに埋納時期の上限が絞られてくることが期待できる。また、この銅鐸が集落内に埋納されていたことが、はたして常時土中に保管していたことを示すのか、あるいは非常時に際して急きょ隠匿されたのかもこれからの問題といえよう。

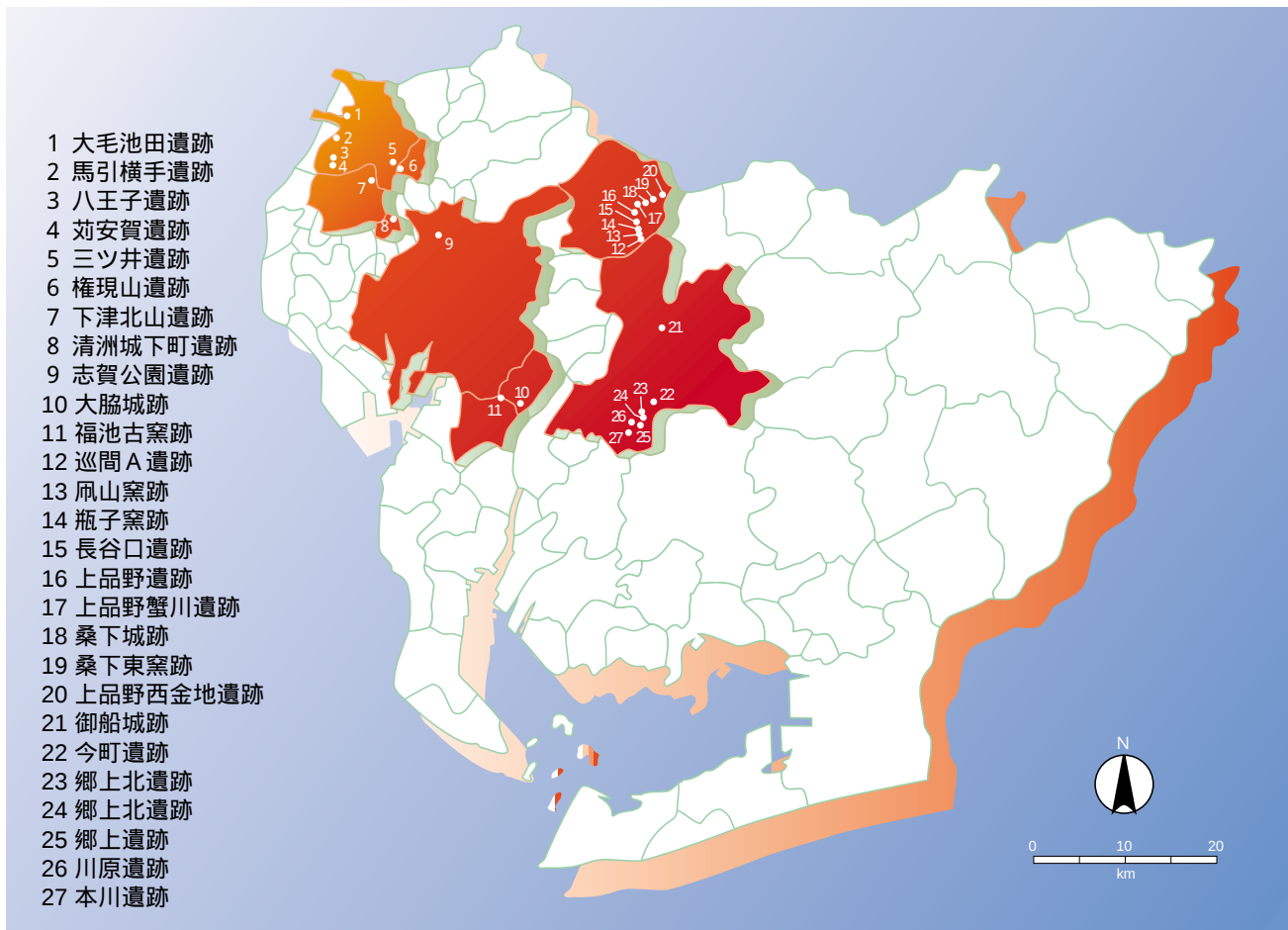
倒位の埋納例については、この八王子銅鐸が初例ではなく、昭和23（1948）年徳島市国府町西矢野源田から出土した3点の銅鐸が知られている。これは正式な発掘調査で確認されたものではないため、これまではあまり注目されなかったのだが、今回の八王子銅鐸の出土により、このような倒位の埋納例が少ないながらも確実に存在することが明らかとなった点は重要である。さらに、倒位のほかに正立状態の埋納例が島根・兵庫・大阪・香川・滋賀・三重などで見られることから、一般に知られている鰭を縦ないしは横に向ける水平方向の埋納例以外に、正立や倒位という垂直方向の埋納例が大阪の例を除けば、主として畿内の周縁部に存在していることは特に注目すべき点といえよう。

また、八王子銅鐸には範傷が認められることから、同範銅鐸の存在を追及し、その分布を確認することも重要な作業である。そのほか、銅鐸埋納坑・銅鐸内の土壌分析などさまざまな面からも検討を加え、これからも八王子銅鐸の謎に迫っていくこととしたい。

参考文献：寺沢 薫「銅鐸埋納論（上・下）」『古代文化』44・5・6号1992
古代学協会

（埋文セ 樋上 昇）

平成9年度 (財)愛知県埋蔵文化財センタ - 調査遺跡位置図



一宮市博物館10周年記念夏季企画展 (財)愛知県埋蔵文化財センタ - 埋蔵文化財速報展 の開催

主催 愛知県教育委員会 / (財)愛知県埋蔵文化財センタ - 一宮市博物館

- ◆ 会 場 一宮市博物館 1F 特別展示室・ラウンジ
一宮市大和町妙興寺2390 TEL (0586)46-3215
- ◆ 期 間 平成9年7月26日(土)～8月31日(日) 月曜日休館
- ◆ 開館時間 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)

埋蔵文化財講演会

- ◆ 講師 酒井龍一氏(奈良大学文学部教授)
- ◆ 演題 「銅鐸と弥生社会」
- ◆ 会場 一宮市博物館 1F 講座室
- ◆ 日時 8月3日(日) 午後1時30分～3時



埋蔵文化財講座

- ◆ 会場 一宮市博物館 1F 講座室
- ◆ 日時 8月9日(土)・17日(日) 午後2時～3時30分

展示品を中心に発掘調査担当者をご説明します。

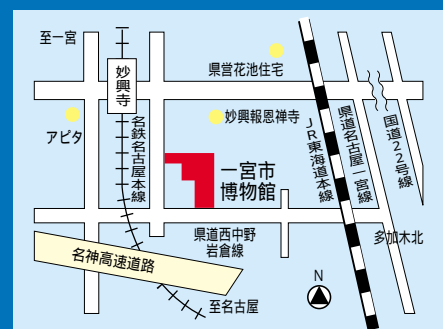
講演会・講座は事前申し込みが必要です。
詳細は当センタまでお問い合わせ下さい。

入館は無料です。

おまちしてます



◆ 会場案内図



埋蔵文化財愛知

no.49

発行 平成9年7月1日
編集 財団法人 愛知県埋蔵文化財センタ -
〒498

愛知県海部郡富岡町ヶ須新田字野方802-24
TEL 0567-67-4161～4163 FAX 0567-67-3054
印刷 クイックス